

大分県由布市における 認知症連携支援とケアパス



由布市社会福祉協議会
認知症地域支援推進員
太田 加奈子

由布市の概況① – 由布市の位置



由布市の概況② – 人口構成と高齢化率

湯布院町 32.5%



由布岳



庄内神楽

庄内町 41.3%



由布川溪谷

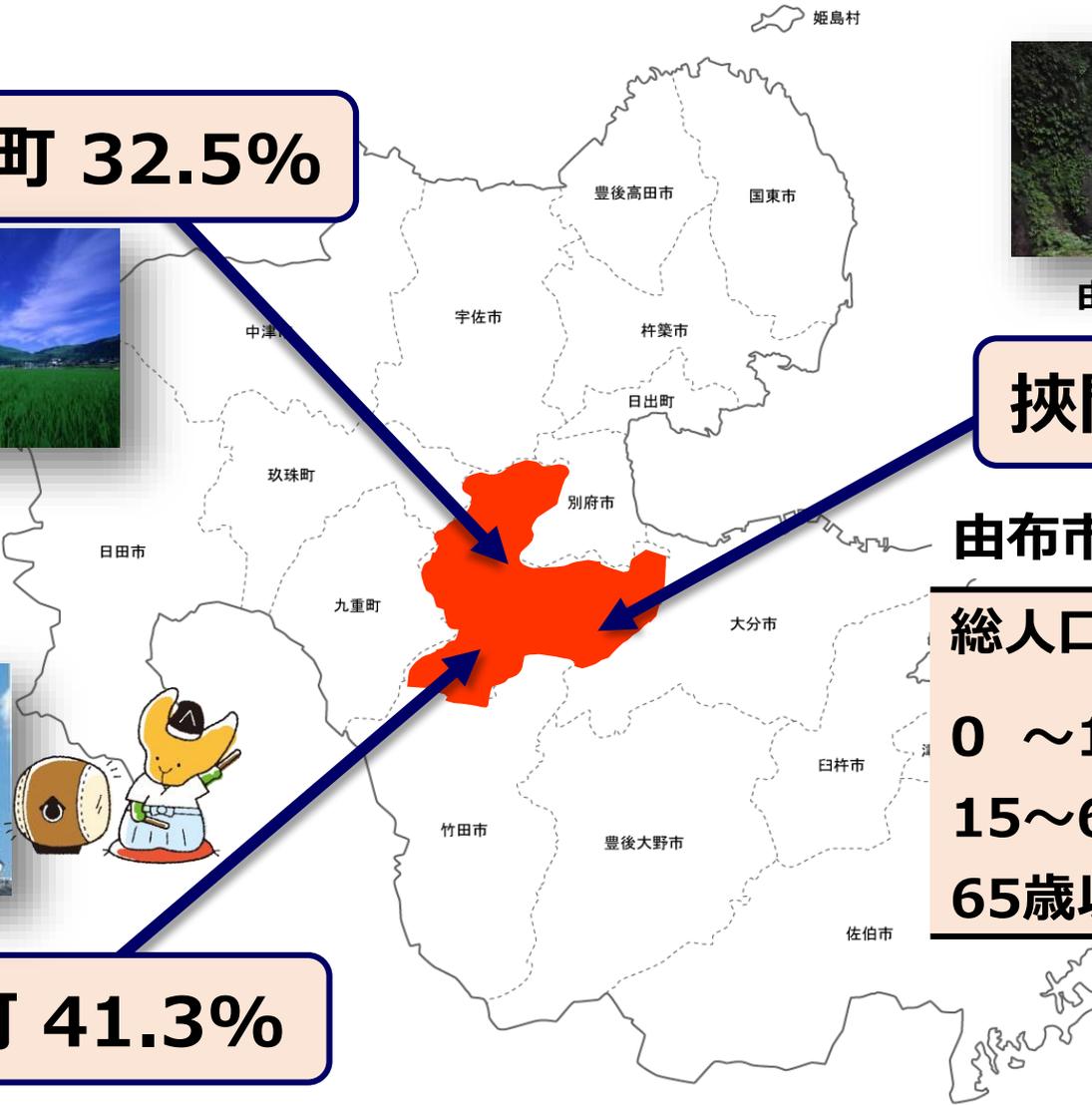


挾間町 26.4%

由布市の年齢別人口

総人口	35,251人
0～14歳	4,443人
15～64歳	19,630人
65歳以上	11,178人

平成28年3月末現在



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）を使用したものである。（承認番号 平19総使、第82号）

由布市の概況③ – 高齢者を取りまく状況

総人口	35,251人
高齢者人口	10,991人
高齢化率	31.1%
世帯数	15452世帯
要介護認定者数	2,244人
要介護認定率	20.4%
日常生活自立度Ⅱ以上	1,491人
第6期介護保険料	5,990円
認知症サポート医	3名
認知症地域支援推進員	1名

An illustration showing a male doctor in a blue coat and glasses sitting at a desk with a laptop. A yellow, rabbit-like character with a green shirt is sitting at the desk, looking at some papers. The desk has a laptop, a pen, and some papers on it.

認知症地域支援推進員としての地域連携



① 由布物忘れネットワークとの連携

研修会の開催及び調整、事前会議の開催

② 認知症コーディネーターとの協働

市が独自で養成した人材のフォローアップ研修の開催、行政との橋渡し

③ 徘徊模擬訓練の開催

運営スタッフとして参画、関係機関や住民への周知・依頼

④ 由布市あんしんネットの整備・運用

事前登録申請支援、協力機関への依頼、パンフレットやステッカーの作成

⑤ オレンジカフェの開催

月に2回の定期開催

⑥ 認知症の正しい理解のための普及啓発活動

認知症サポーター養成とキャラバンメイトへの支援、サロンでの啓発事業

⑦ 認知症ケアパスの作成

今まで作成してきたものを集約し、地域住民向けの啓発材料として作成

地域連携① 由布物忘れネットワーク (専門職と専門職をつなぐ)

由布物忘れネットワークの活動組織

代表 由布市内のかかりつけ医

活動 年4回、多職種連携の研修会を開催

※地域の仲間と一緒に同じ場で同じ内容を学ぶことで共有できる



由布オレンジネットワーク推進会議



アイデア満載、笑い満載の会議

医師、大学教員、由布市行政、中部保健所長、地域包括支援センター、老施協会長、認知症看護認定看護師、医療職、介護職、認知症地域支援推進員など15名程度で構成

- ① 由布物忘れネットワーク研修会の企画・調整
- ② 認知症コーディネーター育成研修の企画・運営
- ③ 徘徊模擬訓練の企画・運営
- ④ 由布市あんしんネットの構築に向けた検討

地域連携② 認知症コーディネーターの活動支援 (専門職と地域をつなぐ)

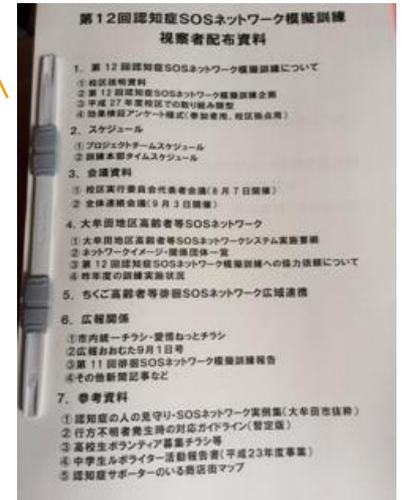
サポーター養成研修



事業所合同音楽会



先進地への視察



各町の強みと弱みを知り、どのような活動をするかを検討!



由布市認知症コーディネーターとは？

由布市認知症コーディネーターの使命

認知症があっても住み慣れた由布市で、自分らしく生き生きと安心して暮らせるよう、地域でのケアネットワークづくりを中心的に担う。

由布市認知症コーディネーターは、自身が所属する機関・組織において、認知症ケアの質向上に向け、リーダーシップを発揮することは勿論だが、**由布市全体の認知症ケアの質向上**をめざし、所属機関・組織の枠を越え、ネットワークの構築に寄与する使命をもつ。





1. 要件

原則として、現在、由布市内の医療・介護・福祉関係の機関・事業所に勤務する者。

① 認知症ケアの実務経験が3年以上の者

② 認知症医療・ケアの現場において、認知症のケアの質向上に向け、意欲的に活動している者

＊ 介護支援専門員、認知症介護実践者、認知症介護実践リーダー、認知症ケア専門士

③ 施設長または所属長の推薦がある者

2. 研修 7日間（毎月1回土曜日開催） 9：00～15：00

3. 由布市長より「修了証」授与

総勢26名養成し、由布市に登録。



研修内容



No.	月日	内 容
1	平成25年 9月28日	開講式・行政挨拶 認知症地域連携における認知症コーディネーターの役割 市民公開講座：認知症の予防・早期受診に関する医学的知識の 講演・演劇・シンポジウム
2	10月26日	認知症ケアの基本（認知症ケアの理念、ケアの基本、健康管理等） 認知症の診断と治療（認知症の診断過程、薬物療法）
3	11月16日	認知症の人の家族支援（家族の思い、家族会との連携等） 認知症ケアに携わる人の支援（ケア者のメンタルヘルス対策等） 認知症の人の権利擁護（成年後見制度等）
10月～12月		施設実習
4	12月14日	施設実習報告会 由布市認知症社会資源マップの作成
5	平成26年 1月25日	徘徊模擬訓練の企画・運営（中津市徘徊模擬訓練について） 徘徊に関する医学的知識および事例検討
6	2月22日	事例検討（見える事例検討会の手法を用いて） 3事例
7	3月15日	事例検討 3事例 医療とケアの連携（認知症ケアでのフィジカルアセスメント等） 修了式



① 社会資源を分類



② 地図にマーキング



③ 特性を発表



社会資源マップを作成してみた感想

- ・自分の地区で足りない点などが再認識できた。
- ・マップを作成することで、サービスのかたまりを感じた。あわせて、インフォーマルの大切さを感じ、連携の大事さも感じた。
- ・分布図がとても参考になる。サービス事業所のみならず、インフォーマルな力を感じた。
- ・同じ地域の皆さんと顔見知りになれてよかった。

健康維持・認知予防	異業の気づき・相談	医療サービス (受診/通院/入院)	介護サービス	看取りケア
健康維持・認知予防 1. ふれあいいきいき健康サロン 2. 健康温泉館 3. 生きがいデイサービス (ディサービスセンター虹・ムミン・すぎた福祉サービスセンター) 4. 生活管理指導員派遣 (湯布院社協訪問介護事業所) 5. 二次予防事業 (ゆふいん風香・ディサービス虹・ムミン・湯布院社協デイサービス) 6. 配食サービス (湯布院支えあいセンター) 7. 健康増進センター 元氣 8. 健康マイレージ 9. ゆふいんチャレンジクラブ 10. ゆふ大学 11. 介護予防教室 (日野病院) 12. 吉村歯科 13. 野上歯科 14. 田代歯科 15. 酒井クリニック 16. FOREST DENTAL 森の歯科者さん 句会同好会、マッサージ助成、ユーバ	相談先・窓口 1. 湯布院社協ランチ 2. 市役所 (GPS機器) 3. 安心サポート (湯布院社会福祉協議会) 4. 居宅介護支援事業所 (介護保険サービスセンター虹シルバーク総合センターぬくみケアプラン事業部・湯布院居宅介護支援事業白心荘・湯布院厚生年金在宅総合ケアセンタームミン 由布市社会協議会湯布院事務所居宅介護支援事務所) ゆとり 介護保険相談センターTONERIKOの木 5. 湯布院交番 6. 郵便局 7. 消防署 8. 認知症と家族の会 9. 緊急通報サービス 施設窓口 防災無線	●認知症の診断・通院・通所 オレンジドクター登録病院 1. 年金病院 2. 日野病院 3. 岩男病院 4. 足立クリニック 5. 南由布クリニック 6. 秋吉医院 ●入院 1. 年金病院 2. 日野病院 3. 岩男病院 住まいの提供 27. 住宅型有料老人ホーム (虹) 28. ショートステイ (トネリコ)	在宅生活 1. 訪問看護 (あさぎり) 2. 訪問リハビリ (ムミン) 3. 通所リハビリ (ムミン) 4. 通所リハビリ (風香) 5. 訪問介護 (ゆとり) 6. 通所リハビリ (ゆふいん風香) 7. 通所リハビリ (ゆとり村田中市) 8. 認知症対応型通所介護 (ゆとり村下依) 9. 小規模多機能型居宅介護 (アドニスホーム) 10. 認知症対応型通所介護 (ゆとり村石武) 11. 介護タクシー (ゆとり) 12. 13. ショートステイ (ゆふいん風香) 14. 15. ショートステイ (温水園) 施設生活 12. グループホーム (菓の花) 14. 特別養護老人ホーム (温水園) 17. 特別養護老人ホーム (白心荘)	在宅での看取り 1. 訪問看護 (あさぎり) 2. 住診 (岩男病院) 3. 住診 (南由布クリニック) 4. 住診 (年金病院) 施設での看取り 5. 風香 6. 温水園 7. アドニスホーム 8. 白心荘 9. 菓の花 医療機関での看取り 10. 岩男病院 11. 日野病院 12. 年金病院
地区にあるインフォーマルな方 1~18 寺院 各寺でお講などの講話を聴くなどして交流している 19. 第一タクシー 20. みなとタクシー 21. 風の原っぱ NPO法人 22. 唱和の会 23. セブンイレブン (配達) 24. 立川タヨ子 健康教室	25. すみれ保育園 26. 聖愛保育園 27. 山崎幼稚園 29. 30. 共同温泉 31. 湯布院駅 生協 (コープ)、新聞配達、自治会活動、民生委員、自治会長、福祉推進員 32. お弁当ふく屋 (配達) 消防団			



地域連携③徘徊模擬訓練の企画・開催 (地域住民と地域をつなぐ)

年に1回開催し、区域に住んでいる人へ向けてアウトリーチ

認知症の人に やさしい街づくり

第二回由布市徘徊模擬訓練のご案内



- 日時 平成27年6月21日(日) 9:00~12:00
- 場所 由布市湯布院町 乙丸区
- 運営本部 湯布院コミュニティセンター

企画・運営：由布オレンジネットワーク推進会議
由布市地域包括支援センター
由布市





地域連携④ 由布市あんしんネット (本人と地域をつなぐ)

● 協力機関へ締結の依頼

薬局、スーパー、銀行などに行政担当者とお向き、協力締結をお願い

● 由布市あんしんネットの広報

民生委員の定例会やケアマネの全体研修会にて広報

● 行方不明の恐れのある人へ事前登録の支援

事前登録者と面談し、もしもに備えて相談支援

● 行方不明発生後のフォロー

ネットワークの活用の有無に関係なく、行方不明事例の聞き取り
警察との情報共有

合言葉は「なしっ娘三ヶ条」

- ① 行方不明なしっ娘
- ② 抱え込みなしっ娘
- ③ 知らん顔なしっ娘



地域連携⑤ オレンジカフェの開催 (本人と社会資源をつなぐ)



オレンジカフェ 原っぱ



- ・会場と送迎はカフェより無償提供
- ・カフェに参加する人の調整、相談対応及び行事の開催を認知症地域支援推進員が行う。

日時：毎月第2、4木曜日
14時～16時

場所：原っぱカフェ（民間のカフェにて開催）

費用：200円（お茶とお菓子代）

参加人数：認知症の本人を含む10名～15名程度

※地域の専門職や認知症疾患センターPSWも参加

みんなで語らい



ボランティア



個別相談



地域連携⑥ 認知症の理解を深める普及啓発活動 (地域住民と病気をつなぐ)



① サロンでの認知症予防講座

→ 早期発見につながる。相談先がわかる

昨年度実績 19地区 443名



② 認知症サポーター養成講座

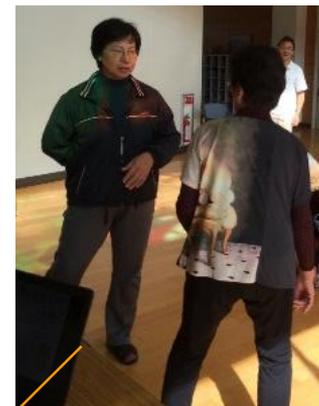
→ 地域力の向上。学校機関への積極的な働きかけ

昨年度実績 12回 504名

看護学生と中学校へ



嘱託医と市議へ



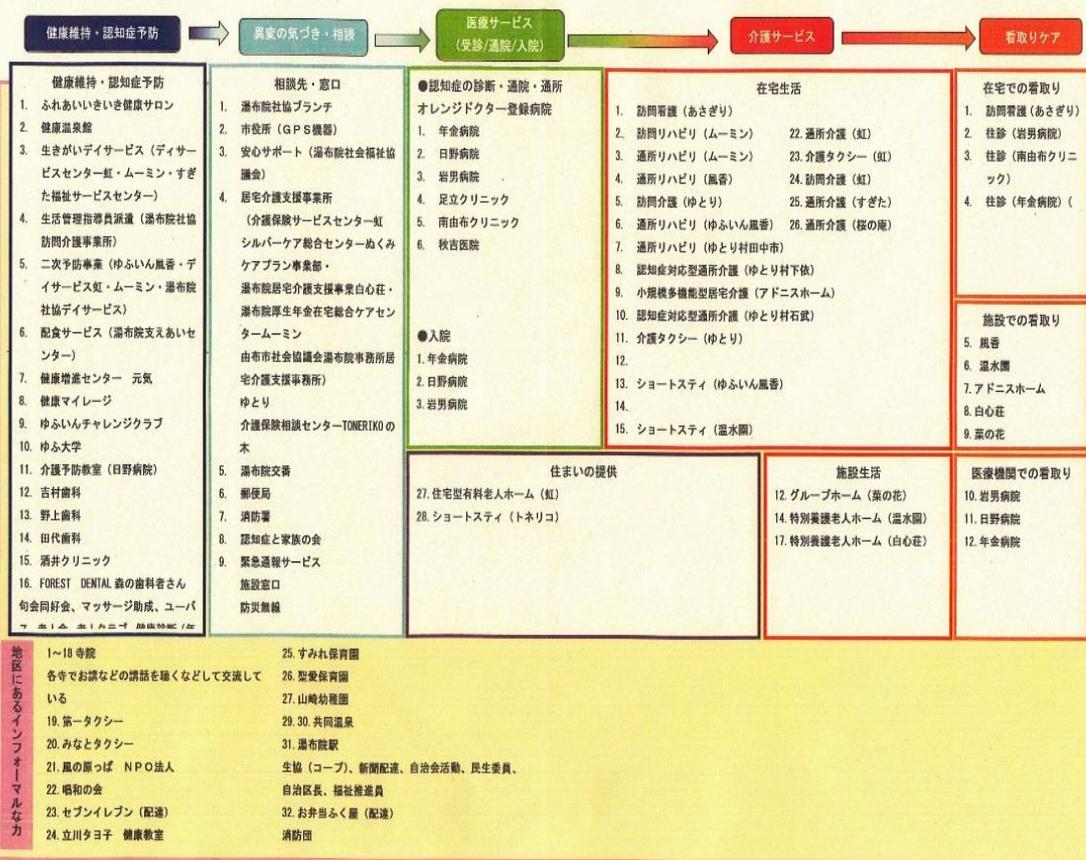
民生委員と小学校へ

地域連携⑦認知症ケアパスの普及 (地域住民とケアの流れをつなぐ)



1) 由布市認知症の社会資源マップの作成状況

認知症コーディネーター育成研修において、社会資源の整理を3町ごとに行った。



《作成の手順》

- ①自分の所属する事業所のある町ごとの社会資源の整理
- ②3町のグループを形成し、ワーク。
- ③所定の書式に各町ごとの社会資源を列挙し、地図上にマーキング。

《課題点》

認知症コーディネーターの個々人の知識の集約であり、社会資源に偏りがある。
 専門職の目線であり、インフォーマルな社会資源についての把握が十分ではなく、広く意見を聴く必要性を感じた。

2) 由布市の地区別認知症ケアパスの作成 (3町→小学校単位へ)

認知症コーディネーターフォローアップ研修において、旧小学校単位でまとめた。

《作成の手順》

- ①各町2ブロックずつの地区別ケアパスを作成。
- ②前回作成したマップに時系列の流れを加えた書式に、地区でうけることのできる医療介護サービスならびに社会資源サービスを記入。
- ③作成したワークシートから、地区でうけることのできないサービスが何か、支援を行う上で必要だと思われるサービスを検討。

(挟間) 地区

	気づき～軽度	→	中度	→	重症
	自立/認知症の疑いがある		症状があっても日常生活は自立している		見守りがあれば日常生活は自立できる
相談する	オレンジカフェ ゆふ 認知症の人と家族の会 はさまのついで 大分大学医学部附属病院を含む挟間町の 病院・薬局6ヶ所		由布市役所 挟間が倉		介護保険サービスセンター・福祉 介護保険相談センター・福祉課 在宅介護支援センター 専 続型事業所等場、こすもす わかば介護保険サービスセンター ごよう介護サービスセンター・実家の介護
悪化を防ぐ (介護予防・悪 化予防)	すこやか健康サロン (向原地区) いきいき元気島 (挟間健康センター)		健康応援団派遣事業 健康マイレージ事業 生きがいデイサービス提供		認知症対応型通所介護センター 通所介護所リハビリテーション こよう通所リハビリテーション デイサービスセンター・豊友 若菜苑デイサービスセンター・ドリーム 訪問リハビリ (健康荘・ごよう)
他者とつながる 仕事・役割をもつ	シルバー人材センター 由布市 公民館活動				
見守る (安否確認・見 守り)	老人クラブのうち定期サロン開催地区 (北方、中村、上村、鬼塚、鶴田、向原、 山野)				GPSサービス導入助成補助事業 由布市あんしんネット事前登録 緊急通報システム 1人暮らし高齢者見守り事業 (老人クラブ)
医療を受ける	大分大学医学部附属病院 さとう消化器・大腸肛門クリニック ことう病院 柳松循環内科/ひろたクリニック 立川眼科/資本整形外科クリニック				
生活を支援する	シルバー人材センター 由布市		ケアハウス豊友館		配食サービス事業 ベッド及び車椅子無料貸し出し事業 ケアポート川崎 介護老人保健施設福寿荘 特別養護老人ホーム・松葉荘
身体を介護する	緊急医療情報ネット配布事業		挟間事務所訪問介護こすもす ヘルパーステーションわかば ヘルパーステーション豊友 訪問看護ステーションハズ		
家族を支援する					認知まつり・床とリハビリ導入助成事業 なほり老人等介護手当 あんしんサポート事業 成年後見制度における作業中立て及び利用支援事 業
住まいを考える					すげぞの湯 せせらぎの湯 住宅型老人ホームはさま

《課題点》

- ・時系列の判断は、個々によつて異なるため、グループワークの中でも意識の統一が難しい。
- ・働いてはいても、実際にその土地に暮らしていないので、交通便などの細かなところまでの把握が難しい。

今まで作成した社会資源マップと地区別ケアパスの作成を踏まえて

由布市認知症ケアパスの作成をどうしよう・・・



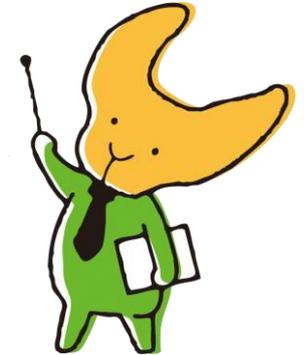
- 地区住民の目による認知症の人や家族に対する社会資源の把握**
- 各地域の満遍ないインフォーマルな社会資源の把握**
→専門職や医療・介護サービス機関が、その指針として活用できること。
- 地域住民と一緒にあって認知症について考えることで、当事者意識が芽生える。**
→認知症という病気を身近に感じてもらうこと、認知症になったときの備えがイメージできること

この3本柱を要に、由布市認知症ケアパス作成をしよう！



認知症ケアパス作成過程①骨組みの決定

「由布市認知症ケアパス」の作成指針を作成



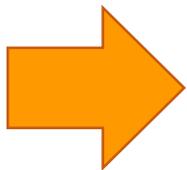
1. 認知症ケアパスとは

- 1) 経緯
- 2) 定義
- 3) 認知症の人・家族、地域住民にとっての意義
- 4) 自治体・介護保険者に求められていること
- 5) 認知症ケアパスを機能させるには

2. 由布市での「認知症ケアパス」に関する取り組み

- 1) 由布市高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画
- 2) 由布物忘れネットワーク
- 3) オレンジパスポート
- 4) 平成25、26年度由布市認知症コーディネーター育成事業

3. 由布市認知症ケアパス作成プロセスと特徴



- ① 由布市で行われている今までの認知症に関する事業やケアを見つめなおし、外部に発信するもの。
- ② 由布市で作成する認知症ケアパスの作成段階を明確化するもの。

認知症ケアパス作成過程②検討委員会の立ち上げ

(目的)

- ① 認知症の人に対する住民のニーズ調査及び検討
- ② 認知症ケアパスの作成及び普及に関すること
- ③ 認知症施策に関わる社会資源に関すること



認知症はわかるけど、ケアパスっちゃ何かえ？カタカナ文字じゃわからんで～！

由布市認知症ケアパス検討委員会メンバー

- ・保健医療機関代表 (認知症サポート医)
- ・介護保険施設代表 (老施協会会長)
- ・介護支援専門員代表 (介護支援専門員協会会長)
- ・被保険者代表 (老人クラブ連合会会長)
- ・各種関係者代表 (社会福祉協議会事務局長)
- ・有識者代表 (認知症コーディネーター 代表)
- ・有識者代表 (地域包括支援センター 管理者)
- ・有識者代表 (国立大学老年看護学教授)
- +事務局 (市役所行政職、保健師、認知症地域支援推進員)

認知症ケアパス作成過程③社会資源のまとめ

【日常生活圏域ごとー3】

- ①医療機関に関すること（医療・歯科・薬局）
- ②介護保険サービスに関すること（居宅・通所系・訪問系）
- ③住まいに関すること（施設サービス・有料老人ホーム）
- ④支える輪に関すること
（オレンジカンパニー・あんしんネット協力機関・認知症コーディネーター・
認知症チャラバンメイト・認知症実践リーダー・オレンジカフェ・家族の会）

【旧小学校単位ごとー13】

- ①どんな街かを知る
（人口・高齢化率・1人暮らし世帯・要介護認定率・歯科受診率・
生活習慣病罹患率・検診率・日常生活自立度の割合）
- ②健康維持・介護予防のための取り組み
（老人クラブ・サロン・公民館活動・自主活動）
- ③わが街自慢と特性（コメントをもらう）



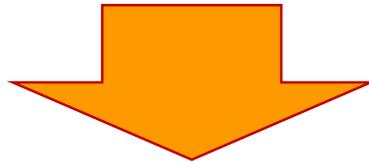
認知症ケアパス作成過程④現場の声を聴取

1) 自治区単位ごとの社会資源をまとめたもの

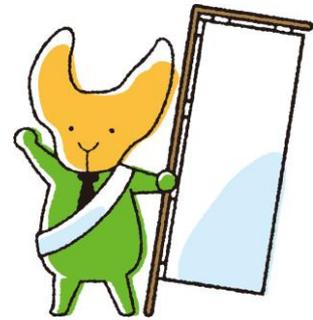
→各地域の人に意見を聞き、自分たちの街を知ってもらいながら、認知症のケアの流れを知ってもらう。

2) 日常生活圏域ごとにまとめたもの

→専門職や地区の役員を中心に、意見と修正をもとめる。



上記をまとめて、認知症ケアパスの完成



《由布市版認知症ケアパス》

①認知症ケアの流れと社会資源のわかるもの（地域全体マクロのもの）

②認知症のイメージ・望む暮らしを明確にするもの（個々ミクロのもの）

→平成29年2月に完成を目指して作成中

**4月の震災で、湯布院町は被災をしました。
震災支援をしてくださった方、
湯布院町を心配してくださった方、
本当にありがとうございます。
湯布院は元気です。
お越しの際には、ぜひお声かけくださいませ。**

由布市社会福祉協議会
認知症地域支援推進員 太田 加奈子
〒879-5134
由布市庄内町庄内原365番地1
097-582-2756/090-8668-5337
yufu-orange@yufu-shakyo.jp

